

第4回 広域ごみ・汚泥処理施設候補地選定委員会まとめ

《開催日》 平成20年1月10日（木）午前9時30分～午後0時00分

《場 所》 豊岡市立図書館2階 視聴覚室

《出席者》 委員：寺嶋均、森住明弘、八村智明、日下部昌男、吉田勲、定元之雄、  
狩野昇、山田政五郎、井上政信、中田雄久、久保田八千代、  
西垣好博、荒井泰史、足田仁司 （敬称略）

組合：施設整備課職員他10名 合計24名

《内 容》 … 委員会次第

1 開 会

2 協 議

(1) 一次評価項目案について（修正）

(2) 候補地の一次評価について

(3) 一次候補地（案）について

（以上、事務局より一括説明）

(1) について

質疑内容

Q： 活断層300m以内について建設は認められていないのではないかと。

A： 原発施設は不可能であるが、ごみ処理施設は可能である。

Q： 施設用地の「標高」は、「標高差」の方が適切ではないかと。

A： 積雪状況は海拔が関係している。それを評価するには標高でよいと考える。

結 論

- ・ 事務局の修正案を了承した。

(2) について（候補地名を伏せた評価表）

質疑内容

Q： 一次評価表の地区名を伏せる理由の一つは、候補地範囲内の設定条件に「上郷を除く」が明記されていなかったためである。もし一次評価表に上郷があった場合には混乱を来すと思ったからだ。上郷は評価表に含まれているのか。

A： 管理者も上郷には整備しないと明言している。よって、評価表の23箇所には含まれていない。

Q： 候補地を評価する場合、項目ごとの調査方法や評価の根拠について問題が出てくる可能性がある。例えば、植生は環境省以外に、県のデータで評価したのかという反論が出てくる。各調査の基準となる出典・根拠について説明して欲しい。

A： ① 活断層—兵庫県地質図（96年の最新版で評価） ② 植生—環境省自然環境保全基礎調査（平成17年度の最新データで評価。県のレッドデ

ーターブックは大雑把であり貴重種しか出ていない。貴重な動植物は密猟等の懸念からはっきりした箇所を明示していない。詳細は生活環境影響評価によって調査が必要) ③ 鳥獣保護区—兵庫県鳥獣保護区位置図 ④ 土地利用—1万分の1図面、現地踏査、豊岡市都市計画マスタープラン ⑤ 砂防指定・保安林(県台帳) ⑥ 住宅への近接・学校・公共施設の可視—1万分の1図面、住宅案内図、現地踏査 ⑦ 畜舎放牧場—1万分の1図面、住宅案内図、現地踏査 ⑧ 文化財—豊岡市教育委員会 ⑨ 過去・現在の施設設置状況—関係課調査 ⑩ 敷地確保の余裕—1万分の1図面、現地踏査 ⑪ 運搬距離—5万分の1図面(福田交差点からの幹線道路の道路延長) ⑫ 施設の可視度合—1万分の1(該当する地区の全ての住宅が対象で—戸からでも見えるか否かの評価。煙突は考慮せず。) 以上が調査の基準とした出典内容である。

Q: 高圧線の影響はないのか。

A: 移設が可能である。

Q: 施設の可視は問題ないと思うが、これを項目に入れた理由は何故か。

A: 過去の地元説明会等で、施設を毎日見て暮らすことへの嫌悪感を指摘された。そのために評価項目にしている。

Q: 市町有地、土地情報は何箇所あるのか。

A: 市有地1箇所、土地情報提供のうち、ある程度地区の同意が得られると思われるのは2箇所ある。

#### **意見等**

- ・ 出典はどの項目についても最新の情報であり、評価基準として妥当である。
- ・ 可視を評価することは如何がなものか。近代的な施設が整備されれば、住民たちも納得するし、逆に喜ばれるのではないか。上郷は反対のための反対として指摘したと思う。
- ・ 可視の問題は解決可能である。この頃の施設は、景観にも配慮されている。重要ではないと思う。
- ・ 箇所名6番のコウノトリの飛来地は、住民から理解が得られにくいのではないか。
- ・ コウノトリは自然との共生をテーマにしている。営巣地に構造物はそぐわないと思うが。他の項目で、埋蔵文化財、神社の絡みもある。
- ・ 過去の古い焼却場は上郷で指摘されたように良いイメージではないと思う。
- ・ 運搬距離からすると、点数の低い箇所でも適地はある。
- ・ 橋梁の新設整備は大変である。
- ・ 空港近辺は岩井の焼却場があり、住民感情の問題で難しいと思う。

#### (3) について

#### 意見等

- ・ A、B、Cの個数、点数も等間隔で意味が無い。B、Cの扱いをどうするのか議論すべきだ。
- ・ コウノトリ営巣地等で問題のある6番を外した形で4箇所選定してはどうか。
- ・ 最初に事務局案で絞込み、その中で建設の難易を考えて重みをつけてはどうか。
- ・ Cの評価は問題があるという意味である。絞り込んでCの扱いを精査してはどうか。
- ・ 火葬場の有無を評価項目に入れるべきである。
- ・ Aの数が多いことはいいが、Cが少ない方もいい。これも評価してはどうか。
- ・ 全てにおいて評価の高い箇所はない。何らかの問題点は全てある。現時点で絞り込むのか、時間を掛けて絞り込むのか判断する必要がある。今回の委員会で一度に絞り込まず、次回も含めて段階的に行ってはどうか。
- ・ 本日はとりあえず5箇所程度に絞込み、次回までに現地確認して慎重に考えてはどうか。

#### (2) について (評価表の候補地名及び図面を公表)

Q： 情報提供のあった地区のうち、同意がほぼ得られそうな2地区はどこであるか。

A： 辻地区と伊賀谷地区である。地区内で会議を開催し、土地情報を提供することについて住民の意思統一がほぼ出来ているらしい。

Q： 市有地の候補地はどこか。

A： 八代地区の河川激特事業の残土処分地である。現在事業が進行中であり、23年度に完了予定であり、施設建設は可能である。

#### 意見等

- ・ 口小野、袴狭は前回の適地選定（前回の候補地7箇所のうちの一つ）の時に前向きな人もいたらしい。
- ・ 袴狭区は墓地公園の絡みもある。住民感情を察すると難しいのではないか。
- ・ 構成市町からすると、坊岡区がいいのではないか。
- ・ 下宮区は、コウノトリの郷公園以外にも近隣に神社、文化財がある。その保護の観点から適当とは言えないのではないか。
- ・ 候補地への運搬ルートは複数あるほうが良いと思う。1本の道に300台以上の車が入ってくることは好ましくない。
- ・ 香美町・新温泉町等の遠隔地からの運搬距離を考慮すべきだ。
- ・ 候補地の現地を見ないで決めると必ず批判が起こる。
- ・ 今回で絞り込むのは困難だ。段階的に行うべきだ。

#### 結論

- ・ 本日は最終2箇所までは不可能。現地を確認し今後絞り込むとする。よって次

回28日まで継続審議とする。

- ・ 全委員が現地確認することは適当でない。委員を代表して豊岡市の委員及び学識者が事務局の案内のもと、少人数で現地確認をする。

《現地視察班編成》

1. 日下部、吉田    2. 森住、八村    3. 定元、狩野    4. 寺嶋

- ・ 確認した委員は、次回の委員会で内容を報告する。

### 3 その他

(1) 次回の開催について

第3回学習会：            平成20年1月28日（月）午前9時30分より

第5回選定委員会：    平成20年1月28日（月）午後1時30分より

（場 所） いずれも豊岡市立図書館2階

### 4 閉 会